

# 第二次名張市子ども読書活動推進計画施策進捗状況調査

平成26年11月作成

## 指針1：家庭、保育所〔園〕・幼稚園における読書活動の推進

### 1 絵本の充実と整備

施策・方針	<p>ア 絵本購入費の確保に努め、子どもの年齢やそれぞれの発達に応じた絵本を充実し、子どもたちが魅力ある本を手にとって見ることができる環境の整備を行います。</p> <p>イ 子どもと本の出会いをより充実させるために、保育所〔園〕・幼稚園の図書館訪問や移動図書館の活用を推進します。</p>
-------	---

実績・課題 平成25年度	<p><b>実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所〔園〕・幼稚園での絵本の購入実績は、0冊～5冊が8施設。6冊～10冊が3施設、11冊以上が6施設でした。</li> <li>・企業からの寄付として保育所〔園〕15施設には30冊程度の寄付があり、各施設一定の絵本の環境整備がなされました。</li> <li>・図書館訪問を行った保育所〔園〕・幼稚園は6施設、移動図書館の利用は8施設、図書館訪問と移動図書館のどちらも利用したのは3施設、どちらの利用もなかった保育所〔園〕・幼稚園は6施設でした。</li> </ul> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寄付による絵本環境の整備のため、本の選考ができない点から考えると、各保育所〔園〕・幼稚園で絵本購入費の確保に努め、魅力ある絵本購入を推進する必要があります。</li> <li>・図書館訪問や移動図書館の利用が難しい保育所〔園〕・幼稚園については、団体貸出により対応を行うなど、検討が必要です。</li> </ul>
-----------------	---

重点取組 平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本の整理をおこない年齢に応じた絵本の蔵書状況を把握するとともに、補修不可能な本の廃棄・更新・買い替えをすすめます。</li> <li>・図書館訪問を実施していない保育所〔園〕・幼稚園では、遠足などの機会を利用して図書館訪問を行うよう努めます。</li> <li>・移動図書館が近くにきたら、積極的に利用していきます。</li> <li>・団体貸し出しを積極的に活用します。</li> </ul>
----------------	--

重点取組事業（案） 平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立保育所・幼稚園の図書購入費として、公立保育所で49千円、公立幼稚園では25千円の図書10冊分の購入財源を確保するよう努めます。</li> <li>・各保育室の絵本コーナーの環境整備を行い、子どもと絵本との出会いを充実していきます。</li> <li>・遠足の機会を利用しての図書館を訪問や、移動図書館の活用を促進するとともに、利用が困難な保育所〔園〕・幼稚園では、団体貸出を利用することで、子どもたちが絵本に触れる機会を積極的に作って行きます。</li> </ul>
---------------------	---

### 2 読書活動推進のための取組

施策・方針	<p>ア 保育士・幼稚園教諭対象に、子どもの年齢・成長に適した選書や読み聞かせの効果的な方法等を学ぶ研修の機会をもちます。</p> <p>イ 保護者と子どもが本を介してコミュニケーションを深めるために、ブックスタート事業を継続させるとともに、保護者向けの読書活動に関する講座を開催するなど、家庭、保育所〔園〕・幼稚園への積極的支援を行います。</p> <p>ウ 市立図書館と連携し、読み聞かせ等のボランティアの活用を図るとともに、各保育所〔園〕・幼稚園でのボランティアの受入を進めます。</p>
-------	---

実績・課題 平成25年度	<p><b>実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員向けの講座を実施しました。（保育所〔園〕・幼稚園、2施設）</li> <li>・保護者向けの講座を実施しました。（保育所〔園〕・幼稚園、7施設）</li> <li>・在宅家庭を対象に、定期的に絵本の読み聞かせを実施しました。（かがやき・毎月3～4回、マイ保育ステーション・毎月1回）</li> <li>・園だよりで絵本の紹介を実施しました。（保育所〔園〕・幼稚園、14施設）</li> <li>・ボランティアによる読み聞かせ会を実施しました。（保育所〔園〕・幼稚園、2施設）</li> <li>・乳児・幼児主任会では、絵本の情報交換をそれぞれ年5回実施しました。</li> </ul> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本への興味・関心を高めるための取り組みとして、保育所〔園〕・幼稚園への、読み聞かせ等のボランティアの活用・受け入れをすすめる必要があります。</li> <li>・職員の資質向上のための研修の機会を確保する必要があります。</li> </ul>
-----------------	---

重点取組事業 平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅家庭への絵本の読み聞かせの継続を行うとともに、通信等の工夫により周知を図ります。</li> <li>・園だより・クラス懇談会などの機会を利用しての親子読書の勧めを、すべての保育所〔園〕・幼稚園で行います。</li> <li>・市立図書館と連携し、読み聞かせボランティアの募集を行い、保育所〔園〕・幼稚園での受け入れを行います。</li> <li>・絵本に関する講座の案内を行い、積極的な参加を呼びかけます。</li> </ul>
------------------	--

重点取組事業（案） 平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園だよりやクラス懇談会を利用して絵本紹介を行い、親子読書の推進に努めます。</li> <li>・図書館と連携し、読み聞かせボランティアの募集を行い、受け入れ園の拡大に努めます。</li> <li>・年5回開催する乳児・幼児主任会を利用し、絵本に関する情報交換を継続して実施します。</li> <li>・講師による保育士・教諭向けの絵本に関する研修を年1回企画し、専門性の向上に努めます。</li> </ul>
---------------------	--

# 第二次名張市子ども読書活動推進計画施策進捗状況調査

平成26年11月作成

## 指針2：小・中学校における読書活動の推進

### 1 学校図書館の資料の充実

施策・方針	ア 国の平成24年（2012年）度からの「学校図書館図書整備5か年計画」に基づき、「学校図書館図書標準」達成率100%の学校の割合を、まずは、三重県平均レベルの小学校39.7%、中学校24.4%とすることを旨とし、「更新冊数」も含めた資料の充実のため、図書購入費等の財源を確保
実績・課題 平成25年度	実績 ・「学校図書館活性化事業」を行い、資料を充実させ、学校図書館を「読書センター」「学習・情報センター」として機能させる等、図書館教育についての先進的な取組への支援を行いました。（モデル校4校） 課題 ・平成25年度末の学校図書館図書標準の達成率ごとの学校数は、小学校は25～50%未満が4校、50～75%未満が10校、75～100%未満が2校、100%達成が1校でした。また、中学校は、25～50%未満が2校、50～75%未満が3校、75～100%未満が0校、100%達成が0校となっています。達成率は伸び悩んでいます。 ・厳しい財政状況が続く中、図書購入費に十分な予算を配当できませんでした。今後は、目標達成に向けて、予算を計画的に確保する必要があります。
重点取組事業 平成26年度	・図書購入予算のより一層の確保と適切な購入をすすめていきます。 ・傷んだ図書の廃棄とともに、修理等により、使用に耐える図書の整備をすすめていきます。 ・「学校図書館活性化事業」によりこれまでの先進事例について広く周知を図るとともに、新たにモデル校を選定し、図書館教育についての先進的な取組を支援します。
重点取組事業（案） 平成27年度	・平成29年度末に目標値に達するためには、単年度、小学校ではおよそ700万円、中学校ではおよそ500万円必要となることから、図書購入予算の確保に向けて重点的に取り組めます。 ・分類ごとの蔵書比率を鑑み、適切な購入をすすめていきます。 ・「学校図書館活性化事業」により、これまでの先進事例について広く周知を図るとともに、資料を充実させて魅力ある学校図書館となるようさらに環境整備を進め、授業等で活用できるように支援を充実させていきます。 ・市立図書館と連携し、団体貸出の利用を進めます。

### 2 人的体制の整備

施策・方針	ア 子校図書館又振具をとりまわし、各子校の図書館整備と子どもの読書活動推進の支援を行い イ 各市町村の図書館員をとりまわし、各子校の図書館の専任職員としての「学校司書」の配置にむくむく快 ク 積極的に教育活動の一環として、各子校の司書教諭等に連携し、各子校の図書館の充実 に向け、支援の体制づくりをすすめます。 エ 司書教諭等や学校図書館ボランティアのスキルアップを目指し、研修の充実に努めます。
実績・課題 平成25年度	実績 ・学校図書館運営支援員を4名配置し、すべての小中学校を巡回して、各学校の図書館整備と子どもの読書活動推進の支援を行いました。 ・12月に各校の学校図書館ボランティア等を対象に教育センターで図書館ボランティア養成講座を実施しました。また、名張市立図書館主催の「図書館を使った『調べる学習』研修講座」（教育センター共催）や三重県教育委員会主催の「学校図書館活用フォーラム」への参加を呼びかけ、司書教諭等や学校図書館ボランティアのスキルアップを図りました。 ・司書教諭等と連携しながら、図書館資料の管理や図書館の環境整備・運営とともに、児童生徒や教職員に対する情報サービスや読書推進活動、教科や特別活動など教育指導の支援について、業務の広がりを模索しました。 課題 ・平成24年度から公立小中学校に週30時間の「学校司書」をおおむね2校に1校配置するための経費として、地方財政措置が行われていますが、不十分です。
重点取組事業 平成26年度	・図書館ボランティア研修講座や研修会は、研修内容や開催日時の工夫により、多くの方が参加できるようにしていきます。 ・三重県「学力向上のための読書活動推進事業」を活用し、図書館司書有資格者をモデル校に派遣することにより、学校図書館を活用した効果的な授業実践の方法や、学校図書館の管理運営方法を学ぶための支援を行います。
重点取組事業（案） 平成27年度	・改正学校図書館法が、平成27年4月から施行されることから、「学校図書館運営支援員」に代えて、「学校司書」を配置できるよう取組をすすめます。 ・「学校司書」を、学校図書館活性化事業モデル校4校を中心に各学校に配置するよう重点的に取組をすすめます。 ・学校図書館ボランティアの増員を図るため広報します。 ・司書教諭等や「学校司書」、学校図書館ボランティアのスキルアップのために研修会を年間1回実施します。

### 3 読書活動推進のための学校の取組

<p>施策・方針</p>	<p>ア 小・中学校図書館のコンピュータ管理への支援、小・中学校図書館のネットワークの構築、新刊          イ 図書配置の支援、司書教諭等への支援等、学校図書館の活性化に努めます。          読書活動推進のため、保護者への啓発を学校にはたらくきかけるとともに、PTAにも連携を取り、子どもの読書活動推進の大切さについて、「懇談会」「講演会」「親子読書会」など様々な機会          ウ 家読の推進が図られるよう支援します。</p>
<p>実績・課題 平成25年度</p>	<p>実績          ・学校図書館運営支援員が、各校の図書整備を進めた結果、全ての学校において図書資料のデータベース化とバーコードによる貸し出しが可能になりました。また、教育センターでは、司書教諭等がコンピュータによる図書資料の管理や貸出閲覧準備ができるよう、統一したマニュアルを作成し、配布しました。(小学校17校、中学校4校)          ・児童生徒の書籍貸し出しがより可能になるよう、小・中学校図書館のネットワーク構築の有効性について図書館教育担当社会において協議しました。また、教育センターでは、小・中学校図書館のネットワーク構築に係る先進取組地域の情報を収集しました。          ・PTAと連携し、学校図書館の環境整備や研修会の開催等、児童生徒の読書活動を支援しました。(小学校6校、中学校0校)          ・「うちどくのススメ」を記載したたよりを全校児童生徒を通じて家庭へ配布し、家読の推進を図りました。毎月「としょだより」を全校児童生徒に配布し、読書活動の推進に努めました。(小学校17校、中学校5校)これらのたよりを授業や学級活動で取り上げ、学習に活用した学校は7校でした。(小学校5校、中学校2校)          課題          ・学校図書館運営支援員、司書教諭等以外の教員や学校図書館ボランティアもコンピュータによる管理や貸出システムが活用できるよう情報共有する必要があります。          ・教育委員会は、学校図書館のネットワーク構築について、市全体の方向性を検討していくことが課題です。          ・図書購入や学校図書館教育の活性化に向けて、データを有効活用していくことが今後の課題です。          ・PTAと連携した児童生徒の読書活動支援について各校の取組や先進地域の取組を図書館教育担当者会で交流し、各校の実態に合ったよい取組を取り入れていく必要があります。          ・各校において、「としょだより」等を配布する際、学級活動等での資料としての活用や、教員が記事に触れるなど工夫して配布する必要があります。</p>
<p>重点取組 平成26年度</p>	<p>・読書活動推進に向け、バーコードによる貸し出しを引き続き全校で実施していきます。          ・学校や家庭での読書活動推進に資するため、「としょだより」の発行回数や活用を、より一層進めます。          ・PTAと連携した児童生徒の読書活動の推進ができるよう、具体的な支援を計画・立案します。          ・名張市PTA連合会等にも保護者の研修会参加への支援を求める等しながら、家庭での読書活動推進のための研修会、講座等を企画します。</p>
<p>重点取組事業(案) 平成27年度</p>	<p>・読書活動推進に資するため、各校が魅力ある「としょだより」を発行できるよう、教育センターと連携し、資料・情報の収集に努めます。          ・教育センターとして、名張市PTA連合会にも後援を依頼し保護者の研修会参加への支援を求める等しながら、読書活動推進のための研修会、講座等を年間1回実施します。</p>

# 第二次名張市子ども読書活動推進計画施策進捗状況調書

平成26年11月作成

## 指針3：市立図書館における子どもの読書活動の推進

### 1 市立図書館の児童書の充実

施策・方針	<p>ア 市立図書館の全蔵書冊数に占める児童書の割合の目標値を25%程度とします。</p> <p>イ 保育所〔園〕・幼稚園や学校図書館への団体貸出用児童書の収集に努めます。</p> <p>ウ 内容が古くなったり傷みが激しくなったりした児童書を廃棄して蔵書の更新に努めます。</p> <p>エ 長く読み継がれて傷んできている児童書の買い替えに努めます。</p> <p>オ 身体の不自由な子どもたちのための点字図書や録音図書などの充実や、外国人の子どものための外国語の図書の充実に努めます。</p> <p>カ 以上のことを実現するための予算の確保に努めます。</p>
-------	---

実績・課題 平成25年度	<p><b>実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蔵書冊数に占める児童書の割合 22.2%(児童書:12.9% 絵本:8.6% 紙芝居:0.6% 児童参考書:0.1%)</li> <li>・受入冊数に占める児童書の割合 19.1%(児童書:11.8% 絵本:7.0% 紙芝居: — 児童参考書:0.3%)</li> <li>・平成25年度資料購入費(日本図書館協会公共図書館調査票の区分) 資料費:9,722,334円(内、図書費:8,656,782円 雑誌新聞費:1,055,122円 視聴覚資料費:10,430円)</li> </ul> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、受入冊数に占める児童書の割合を増やしていくことが課題です。</li> </ul>
-----------------	--

重点取組事業 平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受入冊数に占める児童書の割合の増加に努めます。</li> <li>・予算の確保に努めます。</li> </ul>
------------------	--

重点取組事業(案) 平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受入冊数に占める児童書の割合の目標値を20%程度とします。</li> <li>・長く読み継がれて傷んできている児童書の買い替えに努めます。</li> <li>・上記の取り組みが可能な予算(平成26年度図書費予算額(900千円)以上)の確保に努めます。</li> </ul>
---------------------	--

### 2 人的体制の整備

施策・方針	<p>ア 児童サービスに関する専門的な知識を修得した児童サービス担当司書の確保により児童サービスに関する知識や技術の蓄積に努めます。</p> <p>イ 職員やボランティアの児童サービスの技術力の向上につながる研修等を年2回以上実施するよう努めます。</p> <p>ウ 市立図書館のボランティアや学校図書館ボランティアの他、子どもの読書活動にかかわるボランティアグループの組織化やコーディネートを行う受入体制を整備し、市立図書館内外で活動できるよう支援に努めます。</p>
-------	---

実績・課題 平成25年度	<p><b>実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第二次三重県子ども読書活動推進計画の実施にかかる研修会に、おはなし会ボランティアとともに参加しました。(1回)</li> <li>・「全国訪問おはなし隊」読み聞かせ学習会におはなし会ボランティアとともに参加しました。(1回)</li> <li>・「図書館を使った『調べる学習』研修講座」(三重県図書館協会図書館活性化推進事業)を、小中学校教職員及び学校図書館ボランティア向けに実施しました。(1回)</li> <li>・学校図書館ボランティア研修講座を開催しました。(4回)</li> </ul> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童サービス担当司書の確保には至っていません。</li> </ul>
-----------------	---

重点取組事業 平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種団体の実施する子ども読書活動推進にかかわる研修会の情報収集に努め、積極的に参加します。</li> <li>・市立図書館が主催して、子ども読書活動推進にかかわる研修会を開催します。</li> <li>・児童サービス担当司書を確保するための方策について検討します。</li> </ul>
------------------	---

重点取組事業(案) 平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種団体の実施する子ども読書活動推進にかかわる研修会の情報収集に努め、積極的に参加するとともに、おはなし会ボランティアへの情報提供に努め参加を促します。</li> <li>・市立図書館が主催して、子ども読書活動推進にかかわる研修会を2回開催します。</li> <li>・児童サービス担当司書の確保について、平成27年6月から始まる次期の図書館業務委託の中で、その実現に努めます。</li> </ul>
---------------------	--

### 3 地域における子どもの読書活動推進のための取り組み

<b>施策・方針</b>	<p>ア 子どもを対象にしたサービスの内容や催しのあり方を再検討して、更なる子どもの読書活動の積極的・計画的な推進に努めます。</p> <p>イ 保育所〔園〕・幼稚園への移動図書館巡回の拡大や、団体貸出利用の推進に努めます。</p> <p>ウ 県立高校図書館・高等専門学校図書館と連携して、ヤングアダルトサービスを展開するとともに、その計画的な推進に努めます。</p> <p>エ 子育てを支援する様々な施設で親子がくつろいで読書を楽しめる環境づくりのため、関係部署との協議を進めます。</p>
--------------	--

<b>実績・課題</b> 平成25年度	<p><b>実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども向けに図書を紹介する児童特集展示を行いました。(34テーマ、延べ展示冊数:3,126冊、延べ貸出冊数:4,214冊)</li> <li>・おはなし会等を実施しました。(延べ82回、881人参加)</li> <li>・保育所(園)の児童の図書館訪問を受け入れました。(延べ19回)</li> <li>・市の「出前トーク」に子ども読書活動の推進に関するメニューを追加しました。</li> <li>・第6回なばり本の帯コンクールを共催しました。(応募点数:593点)</li> <li>・教育フォーラムで本の帯コンクールの入賞作品を展示し、おはなし会を実施しました。(211人参加)</li> <li>・中学生以上を対象にした英語のおはなし会を実施しました。(31人参加)</li> <li>・「全国訪問おはなし隊」によるおはなし会を実施しました。(30人参加)</li> <li>・ブックスタート(事業の説明、読み聞かせ)を実施しました。(303人参加)</li> <li>・保育所〔園〕・幼稚園への団体貸出冊数:1,337冊</li> </ul>
------------------------	--

<b>重点取組事業</b> 平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所〔園〕・幼稚園の団体貸出の利用を勧めます。</li> <li>・引き続き、おはなし会等の子ども向けの催しを実施します。</li> </ul>
-------------------------	---

<b>重点取組事業(案)</b> 平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所〔園〕・幼稚園の図書館訪問を積極的に受け入れ、その機会を利用するなどして団体貸出の利用を勧めます。</li> <li>・おはなし会等の子ども向けの催しを実施します。</li> <li>・子ども向けの催しへの会場提供を積極的に行います。</li> </ul>
----------------------------	---

### 4 市立図書館による学校図書館支援

<b>施策・方針</b>	<p>ア 小・中学校の司書教諭等や県立高校学校司書との連携を強化し、学校図書館支援のあり方を検討のうえ、具体的な実施計画を策定します。</p> <p>イ 子どもの施設見学・職場体験を積極的に受け入れ、図書館への興味を深めさせることにより、子どもの読書活動の推進に努めます。</p> <p>ウ 図書館業務受託事業者による小・中学校への学校図書館支援を継続します。</p> <p>エ 県立図書館のサービスを活用した学校図書館支援について検討します。</p> <p>オ M I L A I に参加している県立高校図書館との相互協力に努め、また、M I L A I に参加していない高等専門学校図書館との相互協力についても検討し、蔵書の効果的な活用等の連携方法の研究を進めます。</p>
--------------	---

<b>実績・課題</b> 平成25年度	<p><b>実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設見学(小学校7校)、職場体験(小学校1校・中学校3校・高校2校)を受け入れました。</li> <li>・小中学校への学校図書館支援を実施するにあたっては、年度初めに各学校に事前調査を行い、年間計画を策定しました。</li> <li>・小中学校の学校図書館を訪問し、ブックトークや読み聞かせ等を行いました。(訪問回数:延べ40回)</li> <li>・小中学校への団体貸出冊数:3,028冊</li> <li>・県立高校への団体貸出冊数:132冊</li> </ul>
------------------------	--

<b>重点取組事業</b> 平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの施設見学、職場体験を受け入れます。</li> <li>・学校図書館支援を実施するにあたっては、小中学校との連携を密にしメニューを工夫します。</li> <li>・団体貸出の利用促進に努めます。</li> </ul>
-------------------------	---

<b>重点取組事業(案)</b> 平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの施設見学、職場体験を受け入れます。</li> <li>・学校図書館支援を実施するにあたっては、小中学校との連携を密にしメニューを工夫します。</li> <li>・図書館教育担当者会や小中学校への学校図書館支援の機会をとらえ、団体貸出の利用促進に努めます。</li> </ul>
----------------------------	--

### 1 指針1:家庭、保育所〔園〕・幼稚園における読書活動の推進について

・保育所〔園〕・幼稚園での取り組み状況がまちまちである。それぞれの問題点を出し合い、取り組みの見直しを行うことが必要である。保育所〔園〕・幼稚園での絵本購入費を確保するために一丸となって何をすべきか、そこから考えていく必要がある。

### 2 指針2:小・中学校における読書活動の推進について

・学校図書館運営支援員の各校巡回により、図書のデータベース化等、図書館の整備が進んだ。新規購入図書についてのアドバイスや教科への支援等、学校の担当と連携して今後もやっていきたい。継続して人的な配備を強く希望する。  
・全国的に読書活動の推進は市町教育行政の中で比重が大きくなっており、強力に展開されている。予算のない中、教育行政の中で大切なものという位置づけで取り組んでいるところは学力向上等実績を上げている。5か年で計画的に実績を積み上げていけるように、先進事例を調べ積極的展開をしなければならない。  
・学校図書館法の一部改正により、『学校司書』の存在がクローズアップされている。『学校司書』の配置によって、現場に学校図書館の可能性の大きさを知らせることができ、良い循環ができる。大学においては学校司書養成課程や学校司書資格の認定について議論されており、配置が努力義務だといっているはいられない状況にある。学校司書配置に向けてグランドデザインを描いていく必要がある。  
・客観的な評価の指標として、貸出密度についても調査の必要がある。

### 3 指針3:市立図書館における子どもの読書活動の推進について

・人的体制の整備の項目で、「児童サービス担当司書の確保には至っていません。」との記述がある。至っていないからどうするのか、これが大事だ。方法は二つある。ひとつは、市職員の中から一人を選び、児童サービスに関する研修を受けさせてスキルアップを図る方法。もうひとつは、次期の業務委託の中で児童サービス担当司書の確保についての仕様を入れ込むという方法。いずれかを選択する必要がある。

### 4 全体を通して

・平成26年度、27年度の重点取組事業を具体的な記述にするべきである。  
・課題についての記述がないところがある。実績・課題に基づいての来年度の事業である。